

日本語講座、新体制での授業実践

国際交流基金ローマ日本文化会館
作間 温子

ローマ日本文化会館(以下、会館)では、2022 年度より新体制で日本語講座を開講しています。
([2023 年度の日本語専門家のレポート](#))

私は、この会館の日本語指導助手として、主に (1) 日本語講座の授業 (2) 学習者奨励事業の実施を担当しています。

今回のレポートでは、(1)日本語講座の授業から、2023 年度のプロジェクト型学習と自律学習支援 STUDIO INDIVIDUALE ASSISTITO (以下、SIA) 自習型コースの取り組みについて紹介します。

1. プロジェクト型学習

会館の中級コースでは、教材『まるごと 日本のことばと文化 中級 1』(以下、『まるごと中級 1』) を使い、1 学期に 1 トピックを学びます。このコースでは、全 14 回の授業で教科書に基づいた授業とプロジェクト型学習を並行して行っています。

2022 年度のカリキュラム改訂により、初中級レベル以上のクラスにプロジェクト型学習が導入され、受講生たちがプロジェクトの内容や達成目標を決定し、それに取り組むようになっています。

『まるごと中級 1』 TOPIC2 「おすすめの料理」 コースのプロジェクト型学習

このトピックの Can-do では、「自国の料理の特徴や作り方を分かりやすく説明できる」、「料理の作り方のメモを書くことができる」、などが設定されています。

話し合いの結果、今回のプロジェクトでは、それぞれが紹介したいイタリア家庭料理の作り方をまとめ、発表会を行うことになりました。

全員で作ったレシピ本には、前菜からデザートまでの料理が紹介され、トマトのブルスケッタ、クリスマスに食べる魚貝のパスタ、マンマ直伝のニョッキ、手作りティラミス等がコース料理のように掲載されました。



受講生が作成したレシピ本の一部

発表の際には、作り方だけではなく、どんな時に食べるか、どんな起源を持つかなどの情報も一緒に紹介されました。

このレシピ本は、発表会の見学者に配布され、私自身もレシピに従ってティラミスを作ってみました。後日、受講生に試食してもらったところ「日本人が作ったティラミスを初めて食べた！おいしい！」という感想をもらうことができました。

今回のプロジェクト型学習は、「イタリアの家庭料理」という身近なテーマで、楽しい日本語使用の場になったと思います。このトピックでのプロジェクト型学習は、食べることを楽しむイタリア人ならではのユニークな内容になりました。

2. 自律学習支援 SIA 自習型コースの変遷 - 仮想空間を活用して

会館では、受講生を対象に自律学習支援 SIA 自習型コースを開講しています。このコースでは、受講生一人ひとりがトピックや教材を選んで学習できるように自習スペースが提供されています。受講生は、毎時間ごとに自分の学習目標を設定し、それが達成されたかどうかを確認しながら自習を進めています。必要に応じて講師に質問したり、助言を求めたりすることもできます。

開始当初は、会館の図書館で行う対面コースでしたが、新型コロナウイルスの流行により 2020 年 10 月からはオンラインで開講され([2021 年度の日本語指導助手のレポート](#)参照)、2022 年度にはカリキュラムが改訂されたことにより、自習型コースとプロジェクト型コースの 2 つのコースに分けられました。

2023 年度からは、オンラインかつ対面の方法に近い形での実施を試み、[Gather](#) (注 1) を活用して開講しています。この仮想空間のスペースでは、机や椅子、ホワイトボードなどを設置して、学習環境をデザインしています。そのほかに自習に使える学習サイトや振り返りのための [Padlet](#) (注 2) のリンクも設置しています。個人の机を設定して一人で勉強したり、共有スペースでほか

の人と会話をしたり、いっしょに学習したりすることもできます。今後もクラスレベルを越えて、受講生同士が交流しながら学習する場になればと思っています。



SIA 自習型コースでの仮想空間の活用

注1 『Gather』 <https://ja.gather.town/>

注2 『Padlet』 <https://padlet.com/>

2年間を振り返って

2022年7月にローマに着任してから、まもなく2年間の任期が終了します。着任した当時は新型コロナウイルスの収束の兆しが見え始め、日本語講座も新たな体制に移行するタイミングでした。1年目は新体制を整えるための様々なチャレンジがあり、2年目はそれらを修正し改善するというプロセスを実践的に学ぶことができました。日本語講座の運営業務やプロジェクト型学習の実施など、初めての経験で難しいと感じることもありましたが、日本語専門家をはじめ、現地講師の先生方、会館職員・スタッフの皆さんに支えられ、前向きに楽しく活動できました。初めての欧州生活や欧州の学習者との関わりは非常に刺激的で、自分の価値観が広がったと実感しています。残りの活動期間も楽しみながら、イタリアの日本語学習者のために精一杯努めたいと思います！

以上